

生活単元学習指導案

授業日 令和6年7月12日（金）2校時

学習者 Step up 学級6名

授業者 西川 智子

1. 単元名 「8月のカレンダーを作ろう」

2. 単元の目標

◎季節の行事や自然のイメージを膨らませて、飾りを考えたり工夫して作ったりすることができる。

(思考・判断・表現)

◎作りたいもののイメージをもち、主体的に活動することができる。(学びに向かう力・人間性)

◎カレンダー作りを通して、文字や数字を正しく丁寧に書くことができる。(知識・技能)

3. 単元計画と学習評価

	学習内容	学習評価 (方法)	各教科との 関連
1	・活動内容を理解する。 ・8月や夏の事柄について知っていることを出し合い、イメージを膨らませる。 ・カレンダーの仕組みを確認する。 ・カレンダーの飾りを	○カレンダー作りの見通しを持つことができる。(行動観察) ○身近な自然や生き物に興味関心をもち、季節によって変化することに気づくことができる。(発言) ○カレンダーの仕組みや作り方に気付き、暦に関心をもつことができる(発言)	・国語 ・生活科 ・図工
2 本 時	・カレンダーの文字を丁寧に書いたり、飾りを作ったりする。 ・自分のめあてを振り返ったり、友達の良いところを発表したりして、達成感や満足感を味わう。	○カレンダーの仕組みに気をつけて、丁寧に文字や数字を書くことができる。(行動観察) ○作りたいもののイメージをもち、制作することができる。(行動観察) ○自分や友達の頑張りを見つけることができる。(発言)	・国語 ・算数 ・図工 ・道徳

4. 本時で目指す子どもの姿

○使うときの便利さや見る楽しみを想像しながら、丁寧に文字や数字を書いたり、制作をしたりすることができる。(知識・技能)

○自分や友達の頑張りを見つけることができる。(学びに向かう力・人間性)

5. 児童の実態

6. 仮説との関連

①一人一人が目標をもち、ゴールまでの道筋を作ったり、見通しをもたせたりするための工夫(仮説1)

春夏秋冬を感じたり学校行事に見通しをもたせたりすることをねらいに、6月から季節に合ったカレンダー作りを行ってきた。本単元では、毎月のカレンダーづくりの経験をもとにすることで、完成までの活動の見通しをもって安心して活動できるようにする。

②「できた！わかった！成長した！」を実感するための手立て（仮説2）

導入で個別のめあてを自己決定し、終末で振り返りをするすることで、本時の活動への頑張りや達成感を味わうことができるようにしたい。めあてを意識して活動できるような板書やワークシートを工夫していく。また、毎月のめあてと振り返りを残しておくことで、自分の成長を実感できるようにしたい。児童の実態に応じてなぞり書きをする、手本を写すなど、自己決定の場を設けて自分たちで選択して活動に臨めるようにしたい。

7. 本時の学習展開（2 / 2）

	児童の学習活動	□評価（評価方法）※指導上の配慮事項
導入 5分	<p>○本時の活動内容を確認する。</p> <p>①ゴール</p> <p>㊦ 8月のカレンダーを作ろう。</p> <p>○カレンダーの仕組みや約束事、丁寧に作ることの大切さを確認し、自分のめあてを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束事・・・丁寧に書く、休みの日は、色を変える、数字は順番に書く。 ・丁寧に書く、丁寧に作る、先生の話をよく聞く、最後まで頑張るなどの中から自分のめあてを決める。 <p>⑥安心できる手立て</p>	<p>□評価（評価方法）※指導上の配慮事項</p> <p>※以前に作ったものを見ることで意欲付けをし、活動への見通しをもつ。</p> <p>※本時の展開時間の確保のため、あらかじめ作るものを決めておく。</p> <p>③時間の保障</p> <p>□カレンダーの仕組みや約束事など、既習事項や気づいたことを発表することができる。（発言）</p> <p>※学習活動について視覚的に見通しがもてるように、板書を工夫する。</p> <p>※主体的に取り組めるように、児童にどんなめあてがあるか発表させて共有する。</p>
展開 30分	<p>○カレンダーの文字を書く。</p> <p>④自己決定</p> <p>○季節の飾りを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の示す作り方の手順を見たり聞いたりして、順序よく、丁寧に作る。 ・どの材料で飾り付けをしようかな。 ・家で家族が使いやすいように、頑張って素敵なものを作るぞ。 	<p>□カレンダーの仕組みを意識しながら、丁寧に文字や数字を書くことができる。（行動観察）</p> <p>※児童の実態に応じて、なぞり書き、見本を写すなど、自分で選択させる。時間確保のため事前に選んでおく。</p> <p>□友達と教え合いながら、材料を選び工夫して飾りを作ることができる。（行動観察）</p> <p>※児童の机を付け、互いに助け合いながら制作ができるようにする。</p>
終末 10分	<p>○自分のめあてを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごく頑張りました。理由は、上手に出来たからです。 ・うまくいきませんでした。理由は、難しくて頑張れなかったからです。 <p>⑤アイテム</p> <p>○友達の頑張りを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○君が、たくさん発表していてよかったです。 ・○○さんの作品が、とても上手だと思います。 	<p>□めあてを振り返り、発表することができる。（発言・ワークシート）</p> <p>⑦共有</p> <p>※頑張りの項目を工夫する。</p> <p>※言えそうな児童には、友達の良かったことなどを発表させ、互いの頑張りを認め合えるようにする。</p>